

防犯 最新線

第20話

防犯ボランティアOBK

ばあちゃんの良い声防犯に



寒さに負けず見回りに参加するメンバーたち=折戸町の「ミズシマ」で

「ダイコンはできた?」「まだこんな程度だわ」。12月の夜、折戸町の旧道を白い息を吐きながら歩く7人のばあちゃんたち。野菜の出来栄えや、ワイドショー、政治など茶の間の話題に沸く。一見にぎやかだが、れつきとした防犯活動だ。

OBKは「折戸ばあちゃん会」の通称。地元で35年ほどの付き合いになる仲良しグループの散歩が転じて、2010年11月から防犯活動を始めた。「やるからには名前に「工夫を」と、人気アイドルグループAKBに触発されたという。町内の老舗酒店「ミズシマ」を集合場所に、ほぼ毎日朝昼晩活動している。気になる年齢は内緒だ。代表の笠井美津子さんは「想像してほしい」と笑い飛ばすが、メンバー7人の孫の数は合わせて25人もいる。

折戸区は折戸町を中心に西へ藤塚、東へ栄が広がり、東山の一部もまたぐ。日進駅前に立ち並ぶマンション群は都会を物語る景色となった。沿線の地域の住宅開発は今なお続き、メンバーは移りゆく町を見守っている。

早朝組のペアは、夜明け前の5時台から藤塚の住宅街3キロを歩く。子どもがまだ園児だった頃から長年続けている日課。中川紀代子さんは「若い時はこの距離を走っていた。今も歩かないと一日が始まらない」と明かす。夜の巡回は自由参加だ。米野木駅方面に向かう幹線道路の上り坂を途中で折り返し、旧道に入る。公園周辺を見回したり、一人暮らしの高齢者宅では明かりがついているか確認したり。地元の隅々まで知るメンバーだからこそできる気遣いだ。巡回中、笑い声が大きくて「うるさい」と叱られたことも。でも、「すれ違う人に『ご苦労さん』と言われるのが、最高の励みになる」

活動後、酒店の小部屋で一服する。店の水嶋茂子さんはこの会の呼び掛け人。「こんなくちやくちやな所でも皆さんが寄ってくれるのでありがたい」と昼夜を問わず歓迎する。折戸区では他にもいきいきクラブによる自主防犯活動も盛んだ。ばあちゃんたちは語る。「自由気ままなのが長続きの秘訣。健康のためにも歩かんといかんね」(広)

防犯・防災86団体 年末夜警合同出発式

年末に増える犯罪の封じ込めと火災予防を狙いに、日進市は12月1日夜、防犯・防災年末夜警活動の出発式を行いました。

市民会館に、地域の消防団、自主防犯・防災グループなど計86団体のメンバー、地元の代表ら約300人が、青パトや消防車に乗って一堂に集結。地域の安全・安心に向

けて結束を固めました。

水嶋義弘・市消防団長ら4人の代表が、「年末警戒を実施します」と、実施を宣言。萩野幸三市長は「皆さんの活動によって1年間平穏な生活が送れた。年末年始も普段どおりの力強い活動で地域を見守っていただきたい」と訓示を述べました。(谷)

